

＜対策のポイント＞

農機・機器メーカーやICTベンダー、業界団体、研究機関等が行う農業データの連携・共有への支援や、農業データ連携基盤（WAGRI）の活用促進によるデータを活用した農業を推進します。

＜政策目標＞

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

農業データ連携・共有のための環境整備

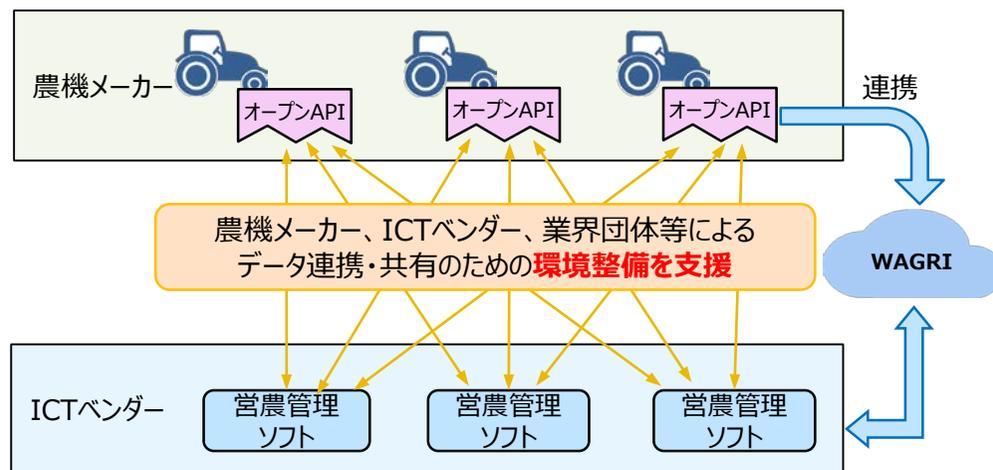
農機・機器メーカーやICTベンダー、業界団体、研究機関等が行う、農業データを連携・共有するための

- ・協調データ項目の特定・拡大、データ形式の標準化
- ・APIの標準的な仕様の整備、接続検証
- ・データの利用権限等の取扱いルールの策定等の環境整備を支援します。

※ 農業データ連携基盤（WAGRI）とは、データの連携・共有・提供機能を有する農業データプラットフォームのこと。

※ API（Application Programming Interface）とは、複数のアプリケーション等を接続（連携）するために必要な仕組みのこと。

【事業例】



＜事業の流れ＞



一つの営農管理ソフトで様々なメーカーの農機データをまとめて管理できる。

